

平成28年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要

県人口 6,242,474人(平成29年1月1日現在)

人口室

電話 043-223-2223

1. 人口総数

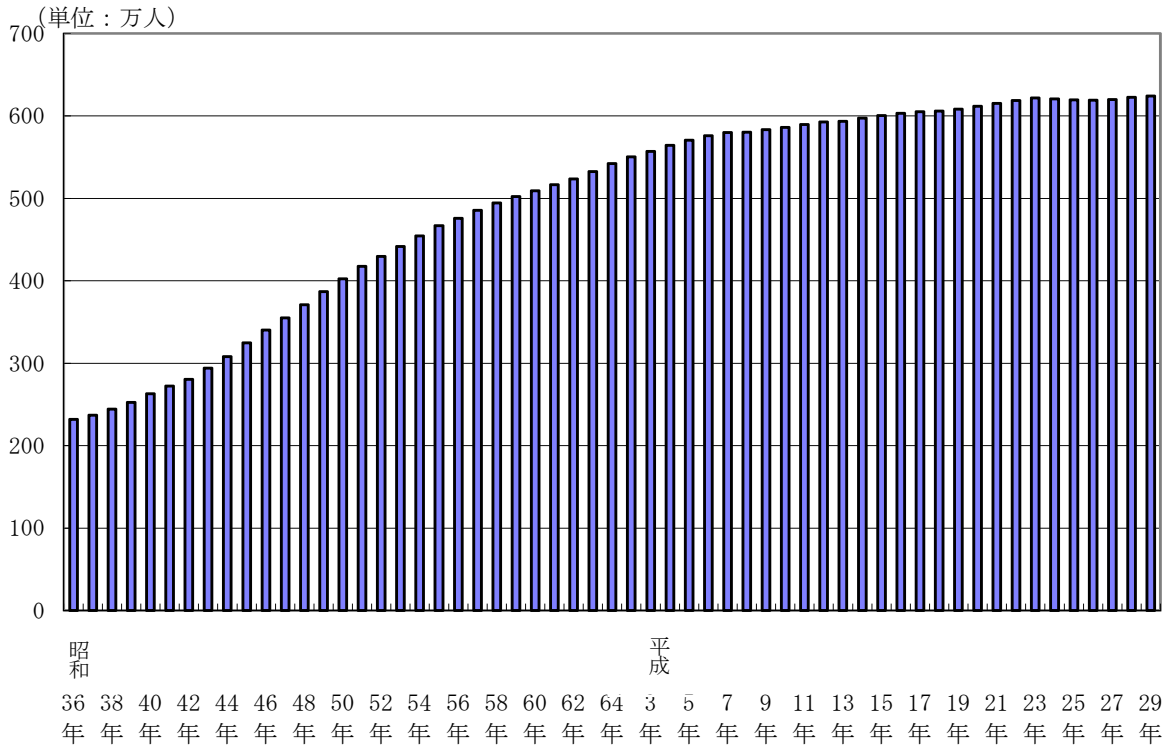
県人口 624万人

平成29年1月1日現在の本県の人口は6,242,474人で、前年人口の6,224,739人に比べ17,735人、率にして0.28%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在(国勢調査)1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。平成23年に初めて減少に転じ、平成25年まで3年連続で減少したが、平成26年に再び増加に転じ、平成27年、平成28年と引き続き増加している。

平成27年国勢調査によると、本県の人口は、6,222,666人で全国第6位となっている。

また、本県の外国人数は平成29年1月1日現在104,187人で、県人口の1.7%となっている。

図1 千葉県人口の推移(昭和36年～平成29年、各年1月1日現在)



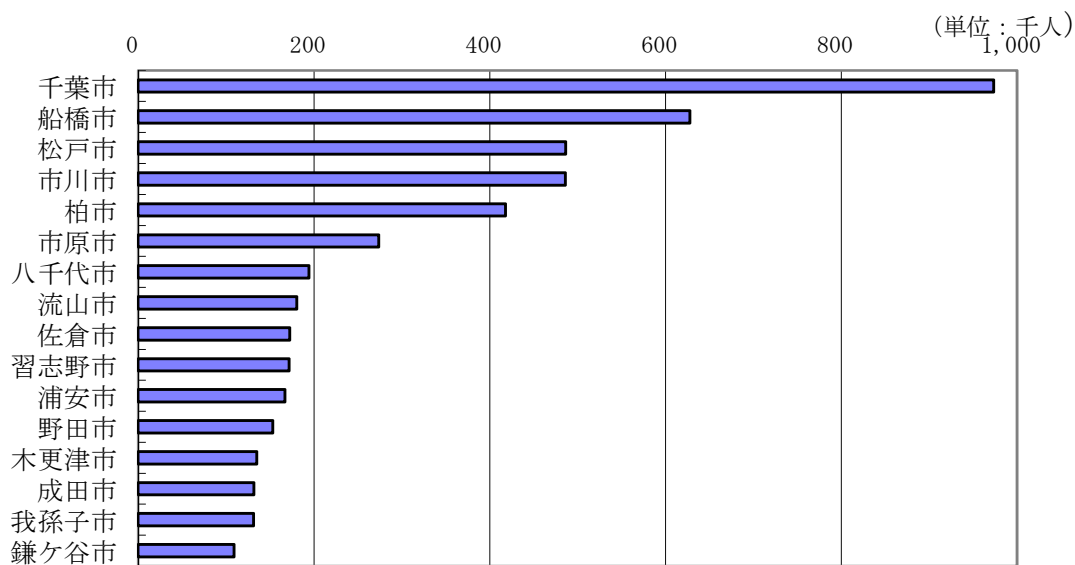
千葉市人口 97万3千人
県人口の 15.6%を占める

平成29年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部(37市)のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が973,309人(県人口に占める割合15.6%)で最も多く、郡部人口207,061人(同3.3%)の約4.7倍となっている。以下、船橋市627,661人(同10.1%)、松戸市486,503人(同7.8%)、市川市486,191人(同7.8%)、柏市417,857人(同6.7%)の順で続き、この5市で県人口の47.9%を占めている。

郡部(16町1村)では、横芝光町が23,416人(同0.4%)で最も多く、以下、栄町20,940人(同0.3%)、酒々井町20,849人(同0.3%)、九十九里町16,091人(同0.3%)、多古町14,482人(同0.2%)の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が18,011人(県外国人人口に占める割合17.3%)で最も多く、以下、船橋市12,839人(同12.3%)、松戸市10,644人(同10.2%)、市川市8,490人(同8.1%)、柏市6,073人(同5.8%)の順となっている。

図2 10万人以上の市



2. 人口増減

人口増減数 1万7千人 増減率 0.28%

平成28年中の本県の人口増減は、増減数17,735人、増減率0.28%で、前年(26,501人、0.43%)より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数10,519人、増減率11.23%となった。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じて以降、平成25年(-0.02%)までマイナスが続いたが、平成26年は増加に転じた。

自然増減数は減少

平成28年中の自然増減は、増減数-10,034人(出生46,656人、死亡56,690人)で、前年の-8,538人(出生48,147人、死亡56,685人)に比べ出生が1,491人減少し、死亡が5人増加して自然増減数は1,496人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数819人(出生1,038人、死亡219人)となった。

近年の自然増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合)でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが、平成23年に初めてマイナスに転じ、平成28年も-0.16%となった。

社会増減数は減少

平成28年中の社会増減は、増減数27,769人(転入188,452人、転出159,488人、県内の移動-405人、その他-790人)で、前年に比べ7,270人減少した。うち、外国人の社会増減は、増減数9,700人(転入35,396人、転出21,925人、県内の移動-45人、その他-3,726人)となった。

前年の増減数35,039人(転入185,161人、転出163,182人、県内の移動-378人、その他13,438人)と比較すると転入が3,291人増加し、転出が3,694人減少し、県内の移動が27人減少し、その他が14,228人減少している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)でみると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、平成28年は0.45%となった。

図3 人口増減率の推移（昭和36年～平成28年）

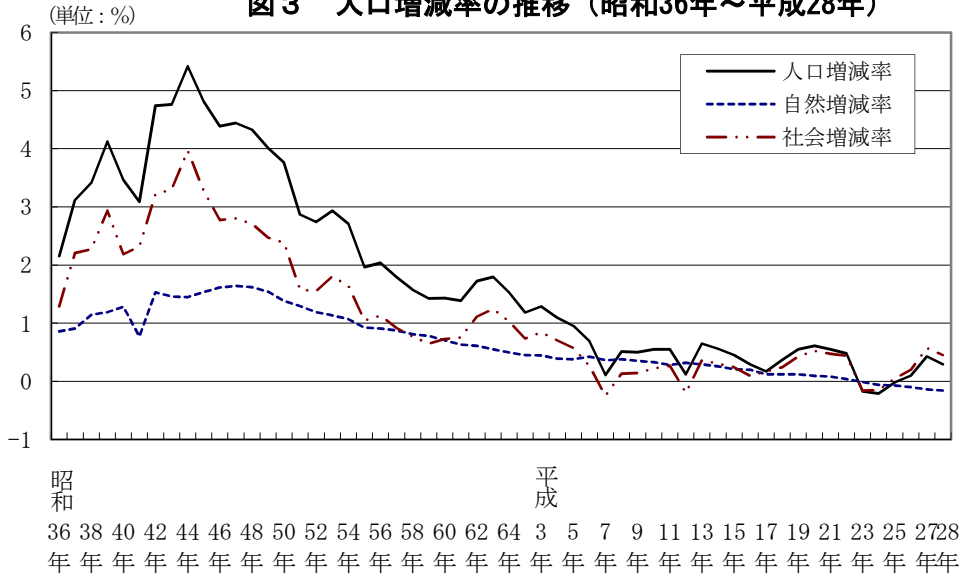


表1 月別動態別人口増減数（平成28年中）

	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-704	-1,540	3,971	5,511	836	10,989	10,026	-123	-4
2月中	-791	-1,379	3,814	5,193	588	11,938	11,097	-261	8
3月中	4,753	-1,074	3,955	5,029	5,827	35,976	29,461	-555	-133
4月中	7,159	-902	3,599	4,501	8,061	26,951	19,403	404	109
5月中	2,072	-605	4,078	4,683	2,677	13,769	11,352	221	39
6月中	1,790	-266	3,806	4,072	2,056	13,074	10,813	-51	-154
7月中	59	-262	3,738	4,000	321	12,726	12,121	-78	-206
8月中	-17	-473	4,273	4,746	456	13,306	12,846	162	-166
9月中	1,348	-451	4,008	4,459	1,799	13,152	11,140	-132	-81
10月中	1,678	-847	3,892	4,739	2,525	13,983	11,403	-13	-42
11月中	846	-804	3,981	4,785	1,650	11,393	9,697	-55	9
12月中	-458	-1,431	3,541	4,972	973	11,195	10,129	76	-169
計	17,735	-10,034	46,656	56,690	27,769	188,452	159,488	-405	-790

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

17市で人口増加
最高増減率は流山市2.50%

平成28年中の人口増減を市町村別にみると、17市で人口が増加し、37市町村で減少した。増加数では、流山市が4,389人で最も多く、以下、市川市4,184人、船橋市4,128人、柏市3,689人、習志野市3,023人と続いている。逆に、減少数では銚子市が1,191人で最も多く、以下、香取市1,033人、君津市895人、八街市707人、山武市704人の順となっている。

また、増加率では流山市が2.50%で最も高く、以下、印西市2.39%、習志野市1.79%、浦安市1.53%、柏市0.89%と続いている。逆に、減少率では勝浦市が2.72%で最も高く、以下、九十九里町2.10%、大多喜町1.86%、銚子市1.86%、鋸南町1.71%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村（平成24年～平成28年）

順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	船橋市	2,246	船橋市	3,567	市川市	3,609	市川市	9,299	流山市	4,389
2	印西市	1,574	流山市	1,860	船橋市	3,437	千葉市	5,487	市川市	4,184
3	流山市	1,105	柏市	1,848	流山市	2,873	柏市	5,275	船橋市	4,128
4	千葉市	694	習志野市	1,512	千葉市	2,325	船橋市	3,872	柏市	3,689
5	木更津市	586	木更津市	759	柏市	2,207	流山市	3,525	習志野市	3,023

順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	松戸市	2,226	市原市	1,357	銚子市	1,226	市原市	2,002	銚子市	1,191
2	市川市	1,757	銚子市	1,254	香取市	1,060	香取市	1,053	香取市	1,033
3	浦安市	1,340	香取市	1,164	山武市	879	銚子市	960	君津市	895
4	我孫子市	1,230	山武市	862	八街市	843	君津市	952	八街市	707
5	銚子市	1,124	野田市	698	市原市	703	匝瑳市	887	山武市	704

表3 人口増減率上位5市町村（平成24年～平成28年）

順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	印西市	1.76	流山市	1.11	流山市	1.70	流山市	2.05	流山市	2.50
2	流山市	0.66	習志野市	0.91	習志野市	0.80	市川市	1.97	印西市	2.39
3	四街道市	0.65	印西市	0.61	市川市	0.77	木更津市	1.59	習志野市	1.79
4	白井市	0.49	四街道市	0.61	船橋市	0.56	八千代市	1.32	浦安市	1.53
5	木更津市	0.45	船橋市	0.58	木更津市	0.55	睦沢町	1.31	柏市	0.89

順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	長南町	2.37	長柄町	2.27	長南町	2.19	白子町	2.74	勝浦市	2.72
2	栄町	2.00	九十九里町	2.26	芝山町	2.18	鋸南町	2.72	九十九里町	2.10
3	鋸南町	1.95	長南町	2.26	鋸南町	2.15	御宿町	2.62	大多喜町	1.86
4	九十九里町	1.91	大多喜町	2.21	大多喜町	2.12	匝瑳市	2.33	銚子市	1.86
5	南房総市	1.68	鋸南町	2.13	勝浦市	1.89	長柄町	2.09	鋸南町	1.71

図4 市町村別人口増減率（平成28年1月～12月）



3. 人口密度

**県人口密度 1,210.3 人/k²
市町村別人口密度は浦安市が
9,640.6 人/k²で最高**

本県の人口密度は、平成 29 年 1 月 1 日現在 1,210.3 人/k²で、前年の人口密度 (1,206.9 人/k²) に比べ 3.4 人/k²高くなった。市郡別にみると、市部 1,369.9 人/k²、郡部 275.3 人/k²で、市部は郡部の約 5.0 倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,640.6 人/k²で最も高く、以下、市川市 8,462.9 人/k²、習志野市 8,191.1 人/k²、松戸市 7,926.1 人/k²、船橋市 7,330.8 人/k²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 73.9 人/k²、長南町 122.6 人/k²、長柄町 152.7 人/k²、南房総市 166.3 人/k²、芝山町 169.1 人/k²の順となっている。

4. 世帯数

**県世帯数 265 万世帯
1 世帯当たり人員は 2.35 人**

平成 29 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,652,678 世帯で、前年の世帯

数 2,614,300 世帯に比べて 38,378 世帯増加し、増減率では 1.47%となり、人口増減率 0.28%よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.35 人で、前年の 2.38 人に比べ 0.03 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 3.03 人が最も多く、以下、芝山町 2.97 人、睦沢町 2.89 人、長南町 2.87 人、匝瑳市 2.87 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.09 人で、以下、勝浦市 2.15 人、浦安市 2.19 人、松戸市 2.21 人、船橋市 2.26 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 13 市町で、多いのは 41 市町村となっている。

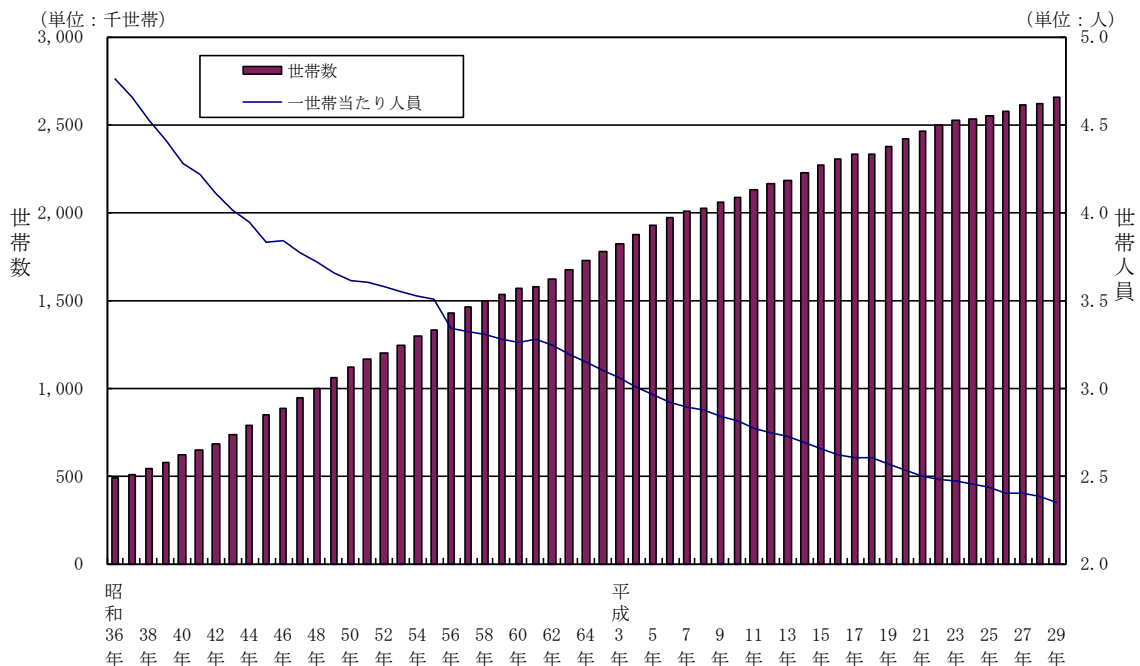
表 4 月別世帯増減数 (平成 28 年中)

(単位：世帯)

	増減数	転入	転出	その他
1月中	856	7,067	5,772	-439
2月中	910	7,500	6,412	-178
3月中	11,914	23,190	13,015	1,739
4月中	10,043	17,343	9,356	2,056
5月中	2,925	8,985	6,120	60
6月中	2,517	8,130	5,960	347
7月中	1,436	8,108	6,763	91
8月中	950	7,910	6,965	5
9月中	2,235	8,677	6,495	53
10月中	2,547	8,905	6,509	151
11月中	1,408	7,344	5,699	-237
12月中	637	6,934	5,785	-512
計	38,378	120,093	84,851	3,136

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 5 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～平成 29 年、各年 1 月 1 日現在)



5. 県外との人口移動

人口移動総数 34万8千人
移動率 5.58%

平成 28 年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、347,940 人で前年の 348,343 人に比べ 403 人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は5.58%と、前年の5.61%に比べて0.03ポイント低下した。

平成 28 年中の県外からの転入者数は 188,452 人（前年 185,161 人）、転出者数は 159,488 人（同 163,182 人）で、転入超過数は 28,964 人（同 21,979 人）となった。

2万9千人の転入超過
転入超過率 0.46%

また、平成 28 年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.46%となり、前年の0.35%に比べて0.11ポイント上昇した。

なお、県外（46 都道府県）との関係は、41 道府県から転入超過となり、5 都県へ転出超過となっている。

表 5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成 9 年～平成 28 年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成9年	410,182 人	7.01 %	7,980 人	0.14 %	209,081 人	201,101 人	5,849,014 人
10年	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11年	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12年	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13年	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14年	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018

表 6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成 24 年～平成 28 年）

順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	943 人	茨城県	1,317 人	茨城県	1,270 人	茨城県	1,363 人	茨城県	1,657 人
2	福島県	941	北海道	981	大阪府	1,159	福岡県	1,220	大阪府	1,200
3	北海道	419	大阪府	721	兵庫県	981	北海道	1,142	福岡県	1,127
4	青森県	374	福島県	621	北海道	979	大阪府	886	兵庫県	911
5	新潟県	372	新潟県	510	新潟県	698	兵庫県	882	北海道	816
順位	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	9,805 人	東京都	8,192 人	東京都	5,484 人	東京都	5,760 人	東京都	1,953 人
2	埼玉県	1,699	神奈川県	1,036	神奈川県	519	神奈川県	542	埼玉県	887
3	神奈川県	1,504	埼玉県	710	埼玉県	151	埼玉県	516	神奈川県	65
4	大阪府	447							群馬県	13
5	福岡県	254							三重県	12